

国語科授業シラバス

科目名	単位数(標準単位)	学科・学年・学級
古典講読	2単位(4)	第2学年・学術探究科

1 学習の到達目標

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。	
使用教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍『精選 古典探究 [古文編]』及び『精選 古典探究 [漢文編]』</li> <li>・数研出版『国語便覧』</li> <li>・桐原書店『重要古文単語315』</li> <li>・数研出版『体系古典文法』</li> <li>・いっぴぐ書店『精説漢文改訂版』</li> <li>・啓隆社『「読む」につなげるアシスト古典文法』</li> <li>・啓隆社『読解トレーニング古典の演習 1, 2 標準編二訂版』</li> <li>・ラーズ『進研WINSTEP Division高2国語 1～3』</li> </ul>	<p>学習形態</p> <p>一斉授業</p>

2 学習計画

学期	月	学習項目	学習内容	観点別評価規準	配当	考查範囲
1	4	1 説話(古) (古今著聞集) 能は歌詠み	1語句、文法事項、和歌の修辭技法を整理しながら本文を読解する。 2本文中に含まれる和歌を、季節ごとの景物について確認する。 3和歌を含んだ説話を、構成を的確に捉えながら読み取る。	【知技】基本的な語句・文法事項・和歌の修辭技法を理解し、読解に活かすことができる。【思判表】和歌を含む本文の構成や展開を的確に捉えることができる。【主】和歌を含む説話を、既習の知識を活かして理解しようと努めている。	4	中間考查
		5 1 小話(漢) (十八史略) 完璧而帰	1本文を正しく音読する。 2脚注、辞書等を参照し、語句・句法の意味に注して現代語訳する。 3各段落のあらすじをおさえる。 4「完璧」の原義と故事成語としての意味の違いを確認する。	【知技】訓読のまじりに従って正しく読み、語句・句法を理解できている。【思判表】基本的な語句や句法を踏まえ、構成や展開を把握しながら的確に捉えることができる。【主】進んで漢文の読み方を確認し、故事成語の意味を踏まえて読解しようと努めている。	3	
	5	2 歌物語(古) (伊勢物語) 狩りの使ひ	1歌物語の特徴を理解し、『伊勢物語』についてまとめる。 2「男」と「女」二人が詠み交わした和歌と短連歌に託された思いを、修辭技法を確認しながら読み取る。 3紛らわしい語の識別方法を確認する。	【知技】語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【思判表】和歌を含んだ読解を通して、本文中の登場人物の思いを理解し、自分の考えを深めることができる。【主】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	4	期末考查
		6 3 史記 1(漢) (項羽) 鴻門の会 四面楚歌 (劉邦) 我所以有天下者何	1中国古典の史書の形式を調べ「本紀」「紀(伝)」の特徴を学ぶ。 2「史記」を語句や句法を確認しながら読む。 3「鴻門の会」を、項羽と劉邦を中心に登場人物を整理しながら読み、それぞれの人物像を把握する。 4「劉邦」を読み、劉邦を取り巻く人々の評価を整理しながら、劉邦が天下を獲った理由を考える。	【知技】語句・句法を確認しながら本文を訓読、口語訳することができる。【思判表】「読むこと」において、構成や展開などを的確に捉えている。作品の成立した背景を踏まえながら読み、内容の解釈を深めている。複数の文章から作品を多面的な視点で読み、自分の考えを深めている。【主】語句・句法などの基本を踏まえて読解し、複数の文章を通して自らの考えを深めようとしている。	7	
	7	3 随筆 1(古) (枕草子) 中納言参り給ひて	1『枕草子』について既習の知識を整理する。 2本文中の出来事について、敬語を整理し、会話主が誰なのかを確認しながら読解する。 3末尾の記述に表現された作者の心情を理解する。	【知技】敬語の種類、敬意の方向を整理しながら、本文を読解できた。【思判表】本文を、登場人物のやり取りや心情を把握しながら読解できた。【主】敬語の知識を活かしながら、本文を読解し、登場人物のやり取りを理解しようとしている。	3	中間テスト
			5 随筆 2(古) (方丈記) 安元の大火	1作中全体の内容と作者について概略を理解する。 2時間の経過を追いつながり、本文の記述と内容を読み取る。 3本文の出来事を通して、作者の主張は何か、読み取る。	【知技】語句や文法事項を整理し、時間の経過に沿って本文を読解できた。【思判表】本文を読解することで、作者の主張を理解した。【主】進んで文章の特色や作者の考えを理解しようとした。	
	2	8	5 随筆 2(古) (徒然草) 花は盛りに	1助詞の用法や紛らわしい語の識別に注意して読解する。 (徒然草) 花は盛りに 2話題とする物語を、段落ごとに自然と人事に分けて整理する。 3構成に注して、作者が述べるものの見方や感じ方に注意する。 (玉鬘) 兼好法師が詞のあげつらひ	【知技】語句や文法を整理し、随筆の二つの文章を読解できた。【思判表】それぞれの文章を読解し、二つの文章におけるそれぞれの作者の考え方を説明することができた。それぞれ文章における作者の考え方の違いを踏まえ、自分の考えを述べることもできた。【主】二つの文章を読解し、作者の考え方を整理して自分の考えを述べようとしている。	3
5 小説 1(漢) (太平広記) 夜行逢鬼			1漢文における小説について確認する。 2語句や句法を確認しながら読解する。 3定伯と鬼のやり取りを中心に本文の展開をまとめる。	【知技】語句や句法を整理しながら本文を読解できた【思判表】語句や句法を基に読解し、定伯と鬼のやり取りを中心に、文章の構成や展開を理解できた。【主】語句や句法を整理しながら読解し、漢文の小説を読解しようとした。	3	
7 作り物語(古) (源氏物語) 光源氏の誕生 (桐壺) ・(若菜)			1「出典」・「作者」を参考にして基本的な知識を得る。 2語句や文法、特に敬語について整理し、主語を確認しながら読解する。 3登場人物について心情を理解しながら読解する。	【知技】語句や文法を整理し、敬語の種類や敬意の方向を確認しながら本文を読解できた。【思判表】登場人物を整理し、それぞれの心情を考察しながら物語を考察を深めようとした。	5	
10		6 日記 1(古) (更級日記) 門出	1日記文学について流れと概要を理解する。更級日記の作者について調べ、理解する。 2語句や文法事項を整理して本文を読解する。 3作者の物語文学への憧れについて整理し、門出にあたっての心情を読み取る。	【知技】日記文学の概略を調べ、語句や文法知識を活かして本文を読解できた。【思判表】作品の成立した背景や、他の作品との関係を踏まえながら本文を読解できた。作者の心情を本文に即して読み取ることができた。【主】文学史における日記文学の位置づけを理解し、作者の置かれた境遇や物語に向けた心情について理解しようとした。	2	期末考查
		4 思想 1(漢) 儒家の思想 (荀子) 人之性悪	1儒家の代表的な人物について、教科書や便覧等で調べ、それぞれの考え方を整理して本文を読解できた。【思判表】知識に基に本文を読解し、性善説と性悪説の違いを整理し、違いを述べることもできた。儒家の思想家について考え方の違いを整理し、自身の考えを述べることもできた。【主】儒家の思想家について調べ、その特徴の違いから自分の考えを述べようとしている。	3		
11		7 思想 2(漢) 道家の思想 (老子) 小国寡民 (莊子) 曳尾於塗中	1道家の代表的な人物について、教科書や便覧等で調べ、それぞれの考え方を整理して本文を読解できた。【思判表】知識に基に本文を読解し、道家の思想家がどのような生き方・政治を理想としているのかを、理解を深めることができた。【主】調べ学習や本文の読解を通して、儒家と道家の思想について触れ、自身の考えをまとめようとした。	【知技】道家の思想について資料を活用して調べることができた。語句や句法を整理して本文を読解できた。【思判表】知識に基に本文を読解し、道家の思想家がどのような生き方・政治を理想としているのかを、理解を深めることができた。【主】調べ学習や本文の読解を通して、儒家と道家の思想について触れ、自身の考えをまとめようとした。	3	
		4 軍記物語 (平家物語) 壇の浦の合戦	1平安末期の混乱した時代背景をまとめ、本文の時代・時間的な位置づけを明らかにする。 2語句や文法事項を整理しながら本文を読解する。	【知技】語句や文法事項を整理し、音便変化や独特の表現に注意しながら読解できた。【思判表】本文中の登場人物を整理し、その心情を本文に即して読解できた。【主】軍記物語を登場人物の心情を整理しながら読解しようとした。	4	

			3構成や登場人物の心情に即して本文を説解する。			
3	1	8 歴史物語1(古) (大鏡) 道真の左遷	1歴史物語としての「大鏡」について、梗概を調べる。 2語句や文法事項、特に歌語について整理しながら本文を説解する。 3道真が左遷させられた理由を理解し、それぞれの和歌や漢詩に込められた心情を読み取る。	【知技】歌語について、その種類や敬音の対象を正確に捉え、現代語訳に反映できた。和歌の修辞技法を踏まえて口語訳できた。【思判表】知識を基に本文を説解し、道真が左遷させられた理由を理解し、和歌や漢詩に込められた心情について理解を深めることができた。【主】作品の叙述の特徴や語り手の立場について理解し、本文の内容を理解しようとした。	4	学年末考査
		6 日記1(古) (蜻蛉日記) なげきつつひとり寝る夜	1日記文学について流れと概要を理解する。蜻蛉日記の作者について調べ、理解する。 2語句や文法事項を整理して本文を説解する。 3当時の結婚形態について理解し、作者と兼家の関係について説解する。 4和歌に込められた作者の心情を理解する。	【知技】語句や文法事項・和歌の修辞技法を確認しながら本文を説解できた。【思判表】知識を活かして本文を説解し、登場人物の関係性について理解を深めることができた。和歌に込められた作者の心情を理解することができた。登場人物に着目し、『大鏡』と関連付けて理解を深めることができた。【主】和歌を通して作者の心情を理解し、『大鏡』と関連付けて作品の理解を深めるよう努めた。	3	
	2	8 文1(漢) 漁父辞	1『楚辞』の概要と屈原の略歴、時代について調べる。 2語句や句法を整理し、本文を説解する。 3話の展開を整理し、屈原と漁父の主張をまとめ、意見を述べる。	【知技】語句や句法を整理しながら本文を説解することができた。【思判表】話の展開を整理し、屈原と漁父、それぞれの主張をまとめることができた。まとめたそれぞれの主張を基に、自分なりの考えをまとめることができた。【主】屈原と漁父の主張をまとめることで人生観について考えを深めようとした。	3	
		9 詩歌(古) 八代集の世界 歌論 近代秀歌	1『八代集』『勅撰和歌集』について資料等を活用して調べる。 2それぞれの和歌について、文法事項や修辞技法・歌合の手法を整理しながら口語訳・理解する。 3「歌論」というジャンルを確認し、全体を通読し、構成を理解する。	【知技】それぞれの和歌について、文法事項や修辞技法を確認しながら口語訳した。【思判表】作品の背景を理解しながらそれぞれの和歌を解釈できた。【主】和歌に関するこれまでの学習を踏まえ、それぞれの和歌について理解を深めようとした。	3	
		2 近体詩(漢)	1それぞれの漢詩について、作者や背景について調べる。 2詩型・押韻・対句など漢詩の決まりを踏まえながらそれぞれの漢詩を口語訳する。 3学習した漢詩の中から一つを選び、鑑賞文を作成する。	【知技】漢詩の決まりを理解し、語句の意味を確認して口語訳できた。【思判表】それぞれの漢詩の背景を踏まえ、内容について理解を深めている。【主】漢詩を読み味わい、理解を深めようとしている。	3	
3	6 古詩(漢文)					
	10 近世小説1(古) (世間胸算用) 小判は寝姿の夢	近世小説を読んで、現代にもつながる登場人物や作者の考え方・興味を読み取り、その魅力を味わう。	【知技】語句や文法事項を整理しながら、本文を口語訳できた。【思判表】口語訳を通して、場面設定における作者の意図を理解することができた。【主】近世文学の特徴を把握し、文章を説解することに努めた。	3		